

尼崎医療生協・第2次医療支援隊、出発！

3/12（土）から1週間、坂総合病院で支援にあたった先発隊が本日夜に大阪に帰任します。正午過ぎには全日本民医連事務局（東京）で先発隊と第2次医療支援隊とが任務交代・引き継ぎを行います。

第2次医療支援隊は、金田医師（医療生協病院医局内科）、岩井田看護部長、小林看護師長（訪看stくいせ）、仁田事務主任（潮江診療所）の4人。

午前中の新幹線で、全日本民医連事務局での任務交代・引き継ぎに東京へ向かいました。東京からは、医療生協の車にて、坂総合病院を目指します。第2班は3/19（土）から3/26（土）まで。医療支援隊の活躍はニュースで適宜お知らせします。



本日、福島に向けて4トンの支援物資送る

各事業所や組合員さんや地域の人たち、またインターネットで尼崎医療生協が支援物資を輸送していると知った会社等から支援物資がたくさん届いています。

医療生協病院の自動販売機業者である金井自動販売からは、水ペットボトル30箱（500ml・24本入）が届き、週明け22日には埼玉県在住の方が尼崎の業者に発注した毛布1000枚も届きます。多くの方から「支援物資を届けてほしい」との連絡をいただき、たくさんの物資をいただきました。みなさんの「思い」をしっかりと確実に届けたい・・・と、トラックがなかなか見つからない中、なんとかトラックをおさえて物資輸送ができるようになりました。

本日9時に4トンのトラックに支援物資を積み込み、医療福祉生協連から物資が不足しているとの情報をもらった福島県に向けて出発しました。向かう先は、①医療生協わたり病院（福島医療生協）、②桑名協立病院（郡山医療生協）、③福島中央市民医療生協。主な物資は、現地で要望が高い、サージカルマスク、生理用品、オムツ、尿パット、水ペットボトル、レトルト食品など。4トン車の荷台に満載して現地に届けます。



全日本民医連・藤末会長からのメッセージ！

ビデオ「会長の訴え」活用を!!

http://www.youtube.com/watch?v=Okps0_su-14

18日(金)12:00に全日本民医連HPおよび、Uチューブにアップしました。活用してください。

(全日本民医連支援ニュースNo.10より)

「阪神大震災の経験を現地へ還元することが使命」

～井村春樹医師のメールから～



●トリアージ続く

3月16日はトリアージの赤ブースを担当しました。普段の内科のやや重症な方がきている印象がありました。また、他のブースでは小児と親のメンタルケアが必要な状態になっている親子がいました。今後は避難所や自宅で生活している被災者のメンタルケアに取り組んでいく必要があるように思います。

●救援がない場所もまだ

当直明けには、避難所めぐりにいってきました。避難所は場所によって差があり、支援がまだ1回

も入っていないような避難所もあると聞いております。訪問時に電気がつななかったときには非常に感動しました。また、近くの厚生年金病院がほとんど機能していない状態となってしまう、肺癌の抗がん剤がきれてしまったり、リウマチの免疫抑制剤がなくなってしまうと関節痛が増強していたりと様々な障害が発生してきております。避難所支援の中でたまたま避難所に来ていた日経新聞の取材を受けました。

●中長期的な支援を

中長期的な支援が不可欠な状態であり、日増しに危機感は募っています。しかし、支援の状況も整いつつあり、支援医師のミーティングも開催されてきております。避難所めぐりも日に日に改善し、地域医療再生に向けた歩みを着々と進めてきております。今後は阪神大震災での復興の経験を現地へ還元していくことが私たちの使命と考えますので、さらなる支援を続けていきたいと思っております。



大震災義援金、続々と集まる！

義援金の訴えが各地で行われ、訴えに応じて多くの方々から義援金が事務局に寄せられています。18(金)には医療福祉生協連の義援金口座へ100万円の振込を済ませました。19日(土)現在、振込分を合わせて、200万円を超えました！

～積極的な義援金活動にご協力をお願いします～